



みなさんこんにちは。今回は私の話をします。私は各地のパラオの先生たちに数学の教え方の指導をしています。実際には先生たちから悩みを聞いてアドバイスをすることが多いです。また数学そのものを教えることもあります。

3月21日はマルキョク小学校に行ってきました。その様子をみなさんに紹介します。



コロールからマルキョクまで

マルキョクはバベルダオブ島の東海岸沿いにあります。国会議事堂や大統領府などの大きな建物の近くに小学校があります。マルキョクはパラオの首都です。私の住むコロール島の中心部からマルキョクまでは約 45 km。道のほとんどはジャングルの中にあります。ほかの教科のスペシャリストたちはもっと奥地まで行くので、私を近い小学校にしてくれたのです。

はじめての道、はじめてのロングドライブなので、朝の 6 時半に出発。マルキョクまでの道路は完全舗装がされています。でも山の上まで登ったり海岸まで下ったり、急な下り坂カーブもあって、ジェットコースターに乗った気分です。

高速道路ではないのでスピード制限がありますが、多くの車は 80 キロ以上で走っています。私は後続車に道を譲りながら、私は 60 キロ台で走りました。



学校に近づいてわき道に入るところで、私は道に迷ってしまいました。カーナビは使えないし道路地図もありません。するとスクールバスが私の車を追い抜いて行きました。それについて行こうとしましたが、残念。スクールバスも猛スピードで走り去りました。

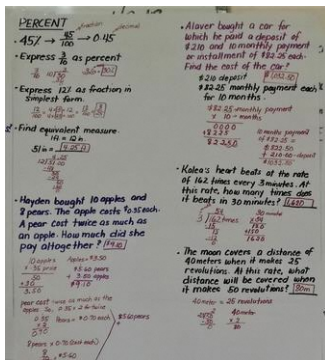
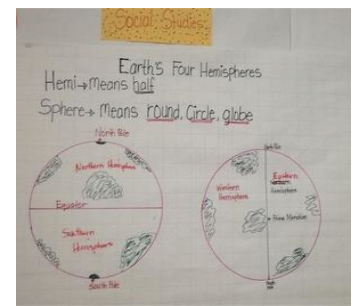
車から降りて道を尋ねていると、一台の青い車が急停車。ドライバーが親切な人で、学校まで誘導してくれるとのこと。その途中で見た風景がこれです。丘の上に立つ国会議事堂です。

今から 25 年前の 1994 年 10 月 1 日に、パラオは共和国として独立しました。また 2006 年 10 月に、コロールからマルキョクへ首都が移されました。周囲はジャングルが広がり、まだ大きな建物はありません。



マルキョク小学校

学校の規模は小さくて各学年とも生徒は 10 人前後です。教え方はいろいろでしたが、どの先生たちも熱心でした。教室内部もきちんとしていて、ていねいな字で書いた掲示物もたくさんあります。日本と同じような算数教材や教科書，ワークブックもあります。プレゼン用の IT 機材も各教室に備え付けられています。パラオでは，どの学校にも生徒用のタブレット端末が配布されています。



下段のいちばん右は，ここで活動している JICA(ジャイカ)の海外協力隊員，籠谷さんです。主に低学年の数学を教えています。

休み時間・昼休み

ほかの小学校と同じように，子どもたちは昼休みに元気に遊びます。縄跳びやバスケットボール，バレーボールなどです。暑いので水分を補給するように先生は注意します。給水タンクが教室の前に並べてあります。いちばん右の写真，生徒が持っているのは齧(かじ)りかけのサトウキビです。おやつ代わりに食べるのです。学校の周りがあったヤシの実を割って，白い果肉を食べていた男子グループもいました。



みなさんは次の写真を見て、子どもたちが何をしているのかわかりますか。



バスケットコートのあるジャングルに入って、ヘビを探していたのです。近くに保護者（女性）がいたので聞きました。「ジャングルの中は危なくないですか?」「だいじょうぶ。パラオのヘビは毒を持っていません。クモも無害です。日本には毒クモや毒ヘビ、食べると即死する魚もいるそうですね。パラオは安全だから」即死する魚とは？ おそらくフグのこと

でしょう。どうやら彼女にとっては、日本＝危険な国 のようです。

この保護者と私との会話はさらに続きました。

「パラオでは食べるものに困りません。私の子どもには、水筒にココナッツジュースを詰めて学校に行かせます。ココナッツジュースはソディウムが豊富に含まれていて、健康にもいいのです」「ジュースを用意するは大変じゃないですか」「簡単ですよ。ココナッツの実はどこにでもあるので。木から落として、拾って、穴をあけるだけです」

「私はサワー・サップという果物を食べて、とても気に入りました」「あれにココナッツ・シロップをかけて食べると最高です。いちど試してごらん下さい」「旅行ガイドブックには、プランテーションで栽培されるとても高価なフルーツと書いてありましたが...」彼女は不思議そうな顔をしました。「それは違います。どこにでもあります。ほら、あそこの 2 本の木。あれがサワー・サップです」そう言って運動場のふちの方を指さしました。

「パラオでは果物はフリー（自由に手に入る、無料）です。日本では何でもお金を払わないといけないそうですね。不便ですね」どうやらパラオの人たちには、日本＝お金がかかる国というイメージもあるようです。

このあと私は走ってサワー・サップの木を見に行きました。レモンの木の横に目立つわけでもなく、普通にありました。

学校周辺の風景

車で帰る途中に、小学校や国会議事堂の周りの写真を撮りました。国会議事堂は小高い丘の上にあります。周囲はジャングルですが、美しい海も見えます。



おまけクイズ (少し拡大して閲覧してください)



- (1) 木にぶら下がっている鉄製の物は何でしょうか。青い矢印に注目
- (2) これは何の木でしょうか。サワー・サップではありません。青い矢印に注目
- (3) これは何でしょうか。
- (4) この女の子のノートの書き方は、日本の小学生と少し違います。
何が違うのでしょうか。左利きということ以外で教えてください。

答えは次のパラオ通信で発表します。

終りに

パラオでも、果物を自由にとって食べてはいけません。

文中の保護者のことばに、パラオでは果物はフリーですとありましたが、勝手に取って食べてはいけません。その地区に住む人たちの了解ごとなので、部外者が勝手に取ったら叱られます。場合によっては逮捕されます。また毒を含む果物もあるので危険です。

パラオの小学生みんながココナッツやサトウキビを学校で齧っているわけではありません。ほとんどの小学校や高等学校では、休み時間や昼休みにスナック（菓子）をとることが許可されています。売店がある学校も多く、そこではアイスクリームやチョコレート菓子、クッキーなどを売っています。子どもたちはそれが大好きで、毎日のように買って食べています。それが生活習慣病を引き起こしているのです。教育省の栄養士さんたちが巡回指導しています。